

釧路公立大学 地域経済セミナー

中東への食品輸出の可能性 ～釧路・根室からアジアそして中東へ～

最近、食品・飲食を中心に道産品の輸出や海外進出を図る動きが広がりを見せており、釧路・根室地域においても、中国、香港、ベトナムなどアジア諸国に輸出等を行う動きがあらわれています。一方、オイルマネー等により富裕層の多い中東諸国への輸出等は日本全般としてみてもまだまだ少なく「これから」という段階にあります。

こうした中、北海道食産業総合振興機構（通称：フード特区機構）では、日本の食品等がさほど浸透していない中東諸国に対し、他地域に先駆けて道産品を売り込むことで道産品の浸透を図るべく、中東諸国への輸出・進出等を推進しようとしています。

本セミナーでは、こうした取り組みを推進しているフード特区機構の鍋島芳弘氏を講師にお迎えし、アジアから中東へと広がりを見せようとしている道産品輸出の可能性や今後の取り組みの進め方等について、中東諸国の現状と課題を踏まえながらご講演いただきます。

日時

平成25年12月3日（火）
午後3時～午後4時30分

場所

釧路公立大学1階 第1会議室
（釧路市芦野4丁目1番1号）

講師

鍋島 芳弘 氏

（北海道食産業総合振興機構(フード特区機構)研究開発部統括部長）

北海道島牧村出身。1983年北海道大学経済学部卒。同年北海道電力に入社。総合研究所、企画本部企画部地域経済グループ担当部長等を経て、2012年4月より現職。

参加を希望される方は、11月29日(金)までに、別紙の参加申込書をFAXで送信いただくか、Eメールでお申込みください。

【あて先】釧路公立大学 地域経済研究センター

TEL：0154-37-5325（直通）

FAX：0154-37-5376

E-mail：r-center@kushiro-pu.ac.jp

主催 釧路公立大学地域経済研究センター
後援 KONSEN 魅力創造ネットワーク